



久保宜明(くぼ よしあき)教授

皮膚科

- 1963年(昭和38年)生まれ
- 1988年(昭和63年)徳島大学医学部医学科卒業
- 2011年10月 教授就任

●専門分野[皮膚癌、遺伝病、脱毛症、アトピー性皮膚炎、分子生物学]

皮膚はカラダの鏡です

お母さんのおなかにいる胎児、赤ちゃん、小児から高齢者まで、全ての人の皮膚と粘膜(口腔、陰部等)に生じる病気やトラブルを診察し、それを解決する手段を考えるのが私達の役目です。最初の診察はまず講師以上の3名でおこない、皮膚科全員の検討会の後、それぞれの専門に分かれてチーム医療に取り組むようにしています。

他の病気の症状が皮膚に出ることがあり、「皮膚は内臓の鏡」と言われています。このことを常に頭において皮膚全体を診させていただきます。皮膚がん、遺伝病など難しい病気の患者さんにとって、治療はもちろんのことその発症メカニズムの解明が、病気の正体を突き止める確定診断につながります。診療と研究の両方がしたかったこともあって、比較的それが叶えられやすいこの分野に進みました。難しい病気で困っている患者さんこそどんどん受け入れて、最後の砦となるのが大学病院の役割だと思います。今後も治療研究を重ねて、徳島大学ならではの新しい治療方法を見つけ出したいと思います。